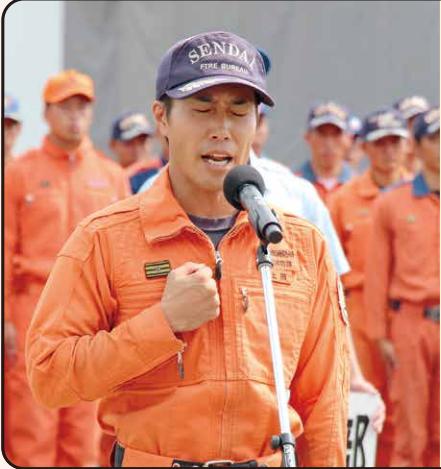


第46回 全国消防救助技術大会

結
～感謝そして未来へ～



主催／一般財団法人 全国消防協会・仙台市
後援／総務省消防庁・全国消防長会・宮城県



結 ～感謝そして未来へ～

2017年8月23日（水）
会場 宮城県総合運動公園 グランディ・21

消防救助の基本であるロープ結びの結の字に「人と人、心と心の結びつきを大切にしていく」という意味を込め、さらには大会やイベント企画等を通じて「震災時の支援に対する感謝」を伝え、「未来を切り開く仙台・宮城の姿」を発信する想いを表現するため、『結～感謝そして未来へ～』をスローガンに、全国の消防救助隊員が集い、第四六回全国消防救助技術大会を、多くの来賓と市民をお迎えし盛大に挙行しました。

この大会は、日頃鍛え抜いた消防救助技術を披露するとともに、高度化に必要な基本的要素の練磨を通じて、消防救助活動に不可欠な体力、精神力、技術力を養い、全国の救助隊員が一堂に会し、競い、学ぶことを通じて、他の模範となる消防救助隊員を育成し、全国民の消防に寄せる期待に力強く応えることを目的として毎年開催しており、今回で四六回を数えるに至りました。

平成二十三年三月一日、未曾有の被害をもたらした東日本大震災以降はじめてとなる被災地東北地方での大会開催は、平成二四年度に仙台で大会を開催する予定をしていたものの、東日本大震災が発生し開催が出来なかつた経緯もあり、念願の仙台・宮城大会となりました。開催場所である宮城県総合運動公園は、東日本大震災の際に緊急消防援助隊の活動拠点となつた忘れる事のできない場所であり、「震災時の支援に対する感謝」や「未来を切り開く仙台・宮城の姿」を発信する感動的な大会となりました。

さて、大会当日は、連日降り続いた雨が嘘のようになに好天に恵まれ、その青空の下参加隊員一同が集結し、会場は一般見学者や消防関係者など約二二〇〇〇名で埋め尽くされました。午前八時五五分、消防団音楽隊の軽快な演奏に合わせ、國際消防救助隊、緊急消防援助隊をはじめ、全国九地区支部から選抜された陸上の部七〇四名、水上の部二三〇名の精銳たちが堂々と入場し、仙台・宮城大会実行委員長である中塚仙台市消防局長の開会宣言で大会の幕は開きました。

開会式ではまず、消防使命達成のため殉職された消防職員の御靈に対し黙とうが捧げられ、国旗・大会旗の掲揚、大会会長である村上全国消防協会会长のあいさつ、開催地である郡仙台市長のごあいさつ、稻山消防庁長官、秋本日本消防協会会长、山田宮城県副知事、岡部市議会議長のご祝辞、仙台市立七郷中学校の畠山さんの感謝のことばと続き、大会審判長の土田北九州市消防局長による審判長指示が行われました。中でも、畠山さんの「感謝のことば」は、震災時の恐怖から消防隊が到着した時の安堵感、さらには全国から被災地に駆け付けてくれたことへの感謝の気持ちが詰め込まれており、最後に「皆様の活動のおかげで、私たちは今、こうして元気に生きることができます。」と前を向き、心のこもつた声で伝えました。その後、出場隊員を代表して仙台市消防局の土田隊員が力強く隊員宣誓を行いました。

開会式の終了後には、「ベガルタチアリーダーズ」によるオープニングアトラクションが行われ、これから始まる訓練に向けて会場の熱気は一気に高まりました。午前一〇時〇〇分、いよいよ訓練の幕が上がり、まずは「津波により押し流された家屋や車両の上に、救助を求める複数の住民が取り残された現場」を想定した技術訓練が行われました。その後の各種目では、それぞれの地区指導会の激戦を勝ち抜いた精鋭たちが、人命救助のプロとしての誇りと絶対に負けない救助魂を胸に訓練に挑み、陸上の部では、猛暑に屈せぬ諦めない気持ちと仲間を信じ救助に立ち向かう姿が、水上の部では、鍛え抜かれた体躯から繰り出される精錬された技術と最後まで助け抜くという姿勢が、訓練を見守る多くの人々の心を揺さぶり、感動を与えました。また、大会のスローガンである『結～感謝そして未来へ～』に込められた想いそのままに、各隊員は訓練を通じて「人と人、心と心の結びつき」を体現し、観覧席から隊員に送られた歓声や激励は「震災時の支援に対する感謝」のようにも聞こえ、まさに「未来を切り開く仙台・宮城の姿」がそこにはありました。

訓練の締めくくりは、技術訓練。陸上会場では「津波で被災した二階建て建物屋上に、救助を求める住民が取り残されている現場」をテーマに、また、水上会場では「釣りをしていた男性二人の内一人が誤って落水し流され、救出しようとした男性一人も流された現場」をテーマに、それぞれ創意工夫を凝らした救助技術を披露しました。その技術を細部にわたるまで吸収しようと、訓練を見守る救助隊員の眼差しは真剣そのものでした。

また、本大会と同時に開催した市民イベントでは、広大な訓練会場を有効に活用し、防災体験エリア、防災・減災まなびのエリア、消防車両展示エリア等様々なイベントが催され、楽しみながら防災を知る工夫がされており、参加された市民からは、楽しみながら防災を知ることができ、防災に関する意識が高まつたという声が多く聞かれ、防災意識の向上に繋がる大きな成果となりました。

閉会式では、村上大会会長が各種日の入賞者を表彰し、訓練の講評を行いました。

国旗降納に續いて、大会旗が中塚仙台市消防局長から次期開催地の荒木京都市消防局長に引き継がれ、荒木京都市消防局長が次期開催地としてあいさつしました。最後に、中塚仙台市消防局長が閉会式を宣言し、第四六回全国消防救助技術大会は幕を下ろしました。

残暑が続く中、多くの来賓と市民の皆様にご来場いただき、成功裏に大会を終えることができました。仙台市消防局の皆様をはじめ、大会運営にあたられた全ての方々に対し、心より感謝申し上げます。

挨拶

一般財団法人全国消防協会

会長 村上研一



第四六回全国消防救助技術大会を仙台・宮城で開催するにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

まず、今大会の開催にあたりまして、稻山消防庁長官、秋本日本消防協会会長、山田宮城県副知事をはじめ、多くのご来賓の方々にご臨席いただきましたことに心から感謝を申し上げます。さて、ここ宮城県総合運動公園において全国消防救助技術大会を開催するにはひとしおの感慨がございます。

ここ仙台・宮城の地では、五年前の二〇一二年に全国消防救助技術大会を開催する予定でしたが、東日本大震災により大きな被害が生じたため、仙台での開催を見送らざるを得ませんでした。そして、本日開催地となつております宮城県総合運動公園は、緊急消防援助隊の進出拠点として活用された場であり、多くの消防職員が、この場から被災者の救助へと出発していきました。

この地で改めて開催される今大会は、当時の消防職員たちの想い、また、発災から六年間の多くの消防職員の想いが詰まつた大会です。東日本大震災では、多くの消防職員、団員が亡くなりました。志半ばで亡くなつていった彼らの事を思うと、本当に胸の詰まる思いです。今大会に参加する皆様には、彼らの分まで精一杯力を發揮していただきたいと思います。

先日、NHKの放送で、千葉県消防救助技術指導会の映像が流れました。その中で、第一回全国消防救助技術大会の写真や第三回大会の映像がございましたが、当時の技術と比べ、現在の技術が格段に進歩していることに、改めて感嘆いたしました。四六年という年月において、我々消防人の魂は受け継がれ、技術は進歩しております。今日の救助大会では、皆様の救助技術が余すところなく示されることを期待いたします。

結びに、本大会の開催にあたり、郡仙台市長をはじめ、仙台市ご当局の皆様、仙台市消防局の中塚局長、宮城県内の多くの消防本部の皆様のご支援に深く感謝を申し上げますとともに、ご列席の皆様、ご来場の皆様のますますのご健勝を心からご祈念申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。



祝辞
仙台市議会議長
岡部恒司



祝辞
宮城県副知事
山田義輝



祝辞
日本消防協会会長
秋本敏文



挨拶
仙台市長
郡和子



次期開催地あいさつ
京都市消防局
荒木俊晴



審判長指示
北九州市消防局長
土田久好



開会宣言・閉会宣言
仙台市消防局長
中塚正志



感謝の言葉
仙台市立七郷中学校
畠山颯汰

△陸上の部

ロープブリッジ渡過（基礎訓練）



左上に のマークが入った画像をかざすと動画が始まります。詳しくは13ページをご覧下さい。

表彰者

【北海道】
室蘭市消防本部
富良野広域連合消防本部
とかち広域消防局

【東北】
弘前地区消防事務組合消防本部
鹿角広域行政組合消防本部

原田 委里治
辻本 拓郎
関原 浩哉
手塚 正宣
智美

水平に展張された渡過ロープ（10メートル（往復40メートル））を往路はセーラー渡過、復路はモンキー渡過する。ロープ渡過の基本的な訓練。

【標準所要時間】一八秒

（標準所要時間）一八秒

【中国】
三木市消防本部

有田川町消防本部
鳥取中部ふるさと広域連合消防本部
湖北地域消防組合消防本部
奈良県広域消防組合消防本部

白山野々市広域消防本部
宇治市消防本部

【近畿】
三木市消防本部

鈴鹿市消防本部

佐久広域連合消防本部

静岡市消防局

本巣消防事務組合消防本部

尾三消防本部

佐久広域連合消防本部

横浜市消防局

甲府地区広域行政事務組合消防本部

東京消防厅

南那須地区広域行政事務組合消防本部

常陸大宮市消防本部

吉川松伏消防組合消防本部

安房郡市広域町村圏事務組合消防本部

安房郡市広域町村圏事務組合消防本部

下羽根加崎斗史輝

高比良和馬

佐々木豪太

柳澤俊行

古屋和馬

辻前川俊行

田上和馬

新納聖也

安間陽明

上井聖也

辻柳澤俊行

田中和馬

柳澤俊行

</

伊都消防組合消防本部	和泉市消防本部	尼崎市消防局	【近畿】
高梁市消防本部	鳥取県西部広域行政管理組合消防局	東広島市消防局	【中国】
高梁市消防本部	鳥取県西部広域行政管理組合消防局	浜田市消防本部	【中国】
光地区消防組合消防本部	光地区消防組合消防本部	浜田市消防本部	【中国】
【九州】	【四国】	【四国】	【四国】
大川広域消防本部	室戸市消防本部	大川広域消防本部	大川広域消防本部
直方・鞍手広域市町村圏事務組合消防本部	室戸市消防本部	直方・鞍手広域市町村圏事務組合消防本部	直方・鞍手広域市町村圏事務組合消防本部
唐津市消防本部	唐津市消防本部	唐津市消防本部	唐津市消防本部
佐世保市消防局	佐世保市消防局	佐世保市消防局	佐世保市消防局
熊本市消防局	熊本市消防局	熊本市消防局	熊本市消防局
宮崎市消防局	宮崎市消防局	宮崎市消防局	宮崎市消防局
大隅肝属地区消防組合	大隅肝属地区消防組合	大隅肝属地区消防組合	大隅肝属地区消防組合
比謝川行政事務組合二三ライ消防本部	比謝川行政事務組合二三ライ消防本部	比謝川行政事務組合二三ライ消防本部	比謝川行政事務組合二三ライ消防本部
新垣義一郎	新垣義一郎	新垣義一郎	新垣義一郎



ロープ応用登はん（連携訓練）

登はん者と補助者が一人一組で協力し、器材を使わずに塔上から垂下されたり、一メートル登はんする。

【標準所要時間一六秒】



ほふく救出（連携訓練）

【東海】	一宮市消防本部	富士山南東消防本部	峡北広域行政事務組合消防本部	座間市消防本部	成田市消防本部	埼玉西部消防局	取手市消防本部	足利市消防本部	館林地区消防組合消防本部	阿賀野市消防本部	須賀川地方広域消防本部	仙台市消防局	西村山広域行政事務組合消防本部	盛岡地区広域消防組合消防本部
竹内貴遼介	小深永村千五百五位	針沢岡井田雅祥	一直将佑凌人太優	小落安米鵜橋池荒茂赤貝篠家渡山家中	佐藤林合藤田澤本田幡木羽塚崎住沼中	紀幸純達賢秀裕大一朗明記瞬也亮平隆人仁成也	将駿太正将安拓政隆樹廣哉	奈良県広域消防組合消防本部	宇治市消防本部	奈良県広域消防組合消防本部	津幡町消防本部	高岡市消防本部	桑名市消防本部	可茂消防事務組合消防本部

【中国】	柳井地区広域消防本部	鳥取県東部広域行政管理組合消防本部	津山圏域消防組合消防本部	加古川市消防本部	大阪市消防局	近畿	串本町消防本部	奈良県広域消防組合消防本部	宇治市消防本部	嶺北消防組合消防本部	津幡町消防本部	高岡市消防本部	桑名市消防本部	可茂消防事務組合消防本部
吉村翔	岡村前田有岡井田前田	奥橋稻影前田有岡井田居	白井居	藤久出本野澤川	小阪池國吉	吉田佐代地端夕迫木	田岡佐代地端夕迫木	堤大木	牧中藤北古細水山三安山林	中藤木川野本國井下	北古細水山三安山林	近小山吉井代種	上藤吉井代種	高岡市消防本部

【四国】	県央地域広域市町村圏組合消防本部	高岡北広域町村事務組合消防本部	高岡市消防本部	有明広域行政事務組合消防本部	杵築速見消防組合消防本部	出水市消防本部	都城市消防局	有明広域行政事務組合消防本部	杵築速見消防組合消防本部	有明広域行政事務組合消防本部	杵築速見消防組合消防本部	杵築速見消防組合消防本部	杵築速見消防組合消防本部	杵築速見消防組合消防本部
小田定史	近小山吉井代種	上藤吉井代種	小田中吉谷	中田吉谷	吉田吉谷	吉田吉谷	吉田吉谷	吉田吉谷	吉田吉谷	吉田吉谷	吉田吉谷	吉田吉谷	吉田吉谷	吉田吉谷



ロープブリッジ救出（連携訓練）

【北海道】	旭川市消防本部	メートル）により対面する塔上へ进入し、要救助者を救出口一階に吊り下げけん引して救出した後、脱出する。要救助者を隣の建物等から进入し、救出することを想定した訓練。
【標準】	所要時間一分一五秒	
表彰者	メートル）により対面する塔上へ进入し、要救助者を救出口一階に吊り下げけん引して救出した後、脱出する。要救助者を隣の建物等から进入し、救出することを想定した訓練。	
【標準】	所要時間一分一五秒	
表彰者	メートル）により対面する塔上へ进入し、要救助者を救出口一階に吊り下げけん引して救出した後、脱出する。要救助者を隣の建物等から进入し、救出することを想定した訓練。	
【標準】	所要時間一分一五秒	

【東北】	仙台市消防局	網走地区消防組合消防本部	石巻地区広域行政事務組合消防本部	魚沼市消防本部	石巻地区広域行政事務組合消防本部	仙台市消防局	【東北】	仙台市消防局	網走地区消防組合消防本部	杵築速見消防組合消防本部	杵築速見消防組合消防本部	杵築速見消防組合消防本部	杵築速見消防組合消防本部	杵築速見消防組合消防本部
柏谷和紀	山田武竹吉野	松井内野	岡田松佐	岡田堀	岡田土岩	今菅	目太木大阿	阿木阿	福田遠藤	中今泉	橋中野	中野	中野	中野

柏原羽曳野藤井寺消防組合消防本部	大阪市消防局	城陽市消防本部	加賀市消防本部	津島市消防本部	豊明市消防本部	長野市消防局	峠南広域行政組合消防本部	鎌倉市消防本部	横浜市消防局
嶋門向 崎埜江 直晃拓 人平也 上 榎木不 三森西 谷本川 延晃敏 誠之輝 也	内池佐安墨松大河 田田田永屋岡向中 晃紳翔大有光星拓 二五平希二大司郎	宮木高三山山中鶴 川場田本村田 雄大信翔一崇純俊 登旗道太樹雅也介	武湯坂中佐保佐 村高青佐島落宮藤 田澤口澤野坂野谷 松木藤崎合下本郡 高木松谷木藤合 青木松谷木藤合 佐木松谷木藤合 島木松谷木藤合 落木松谷木藤合 宮木松谷木藤合 原木松谷木藤合 石木松谷木藤合 稻木松谷木藤合	稻 木 井 也 史 良健紘 洋匡 晋航孝裕恭伸 介規也介哉匠伍 平晃一平明亮太 太太太也史					



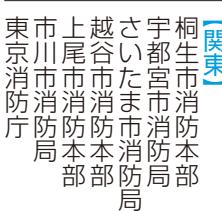
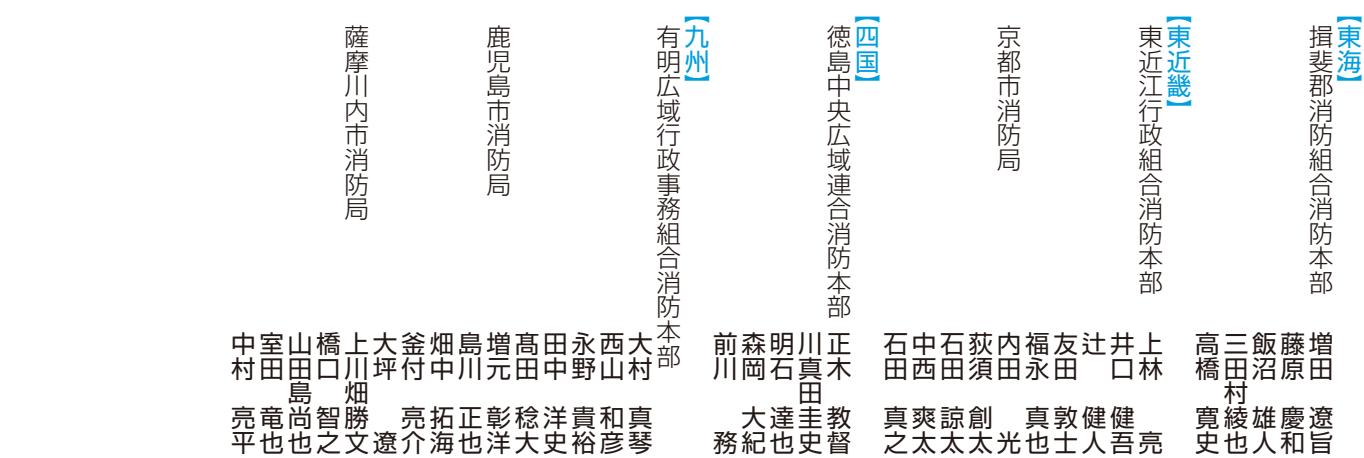
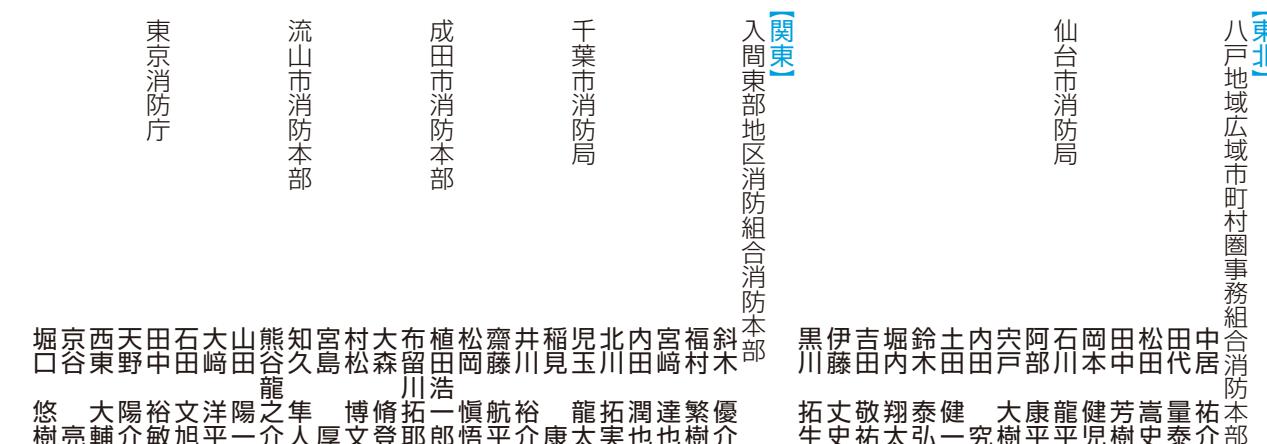
【近畿】 大阪市消防局	【東海】 横浜市消防局	【関東】 成田市消防本部	【東北】 仙台市消防局	【九州】 佐賀広域消防局	【四国】 三觀広域行政組合消防本部	【中国】 岡山市消防局
船松豊的高 越川福場森 将和一勇 人幸武輝作	細梅桑土林 田村下田 正亮智浩祐 平太一貴仁	安灰平柳寺宮川菅田櫻村菊西渡 西谷澤澤村内嶋澤中井上池島部 隆明太康尚隆容周裕真一哲 佑俊郎平悟充助太貴吾哉友遼介仁	遠藤勝 猪瀬渡 森澤武藏 小猪瀬渡 森澤武藏 鈴木森 横澤砂 森澤砂 木森 横澤砂 太智洋 元泰斗 英司浩 太斗傑 英司浩 迪玲	喜多方地方広域市町村圏組合消防本部	喜多方地方広域市町村圏組合消防本部	下藤池清新藤宮繪 村田田水田原崎面 達和圭一亮裕宗暢 也希佑希介司也利

【近畿】 大阪市消防局	【東海】 横浜市消防局	【関東】 成田市消防本部	【東北】 仙台市消防局	【九州】 指宿南九州消防組合消防本部	【四国】 いちき串木野市消防本部	枚方寝屋川消防組合消防本部
五人一組（要救助者を含む）で、二人が 空気呼吸器を着装して塔上から塔下へ 検索後、要救助者を塔下へ搬送 が下し、 一人組（要救助者を含む）で、二人 が塔上から塔下へ搬送	五人一組（補助者を含む）で、四人が 緊密な連携の下、一致協力して「乗り越 える」「登る」「渡る」「降りる」「濃煙を通 過する」の基本動作により五つの障害を 突破する。災害現場の様々な障害を想定 した訓練。	五人一組（補助者を含む）で、四人が 緊密な連携の下、一致協力して「乗り越 える」「登る」「渡る」「降りる」「濃煙を通 過する」の基本動作により五つの障害を 突破する。災害現場の様々な障害を想定 した訓練。	五人一組（補助者を含む）で、四人が 緊密な連携の下、一致協力して「乗り越 える」「登る」「渡る」「降りる」「濃煙を通 過する」の基本動作により五つの障害を 突破する。災害現場の様々な障害を想定 した訓練。	吉崎北薦 中田二井 佑知太 志忠弘 志弘太 功直知 志志太 太佑太 田中佑 梅橋佑 川下口 安樂川 下川 中西田 東中西 沖田福 田中西 翔真祥 也太佑太 圭亮平 也太佑太	吉崎北薦 中田二井 佑知太 志忠弘 志志太 太佑太 田中佑 梅橋佑 川下口 安樂川 下川 中西田 東中西 沖田福 田中西 翔真祥 也太佑太 圭亮平 也太佑太	枚方寝屋川消防組合消防本部

【標準所要時間】一分三七秒

五人一組（補助者を含む）で、四人が
緊密な連携の下、一致協力して「乗り越
える」「登る」「渡る」「降りる」「濃煙を通
過する」の基本動作により五つの障害を
突破する。災害現場の様々な障害を想定
した訓練。





【標準所要時間四〇秒】
「入水」、「潜り込み」で入水した後、
出た状態で、基本的な泳ぎ方として「平泳ぎ」
と「背泳ぎ」でそれ
ずつ泳ぐ。





左上に AR のマークが入った画像をかざすと動画が始まります。詳しくは13ページをご覧下さい。

三人一組（要救助者を含む）で救助者と補助者の二人が協力して浮環にロープを結着後、補助者が浮環をブーム内へ投下して救助者が二〇メートル先の要救助者の位置まで搬送し、これに要救助者をつかまらせ、補助者がロープをたぐり寄せて救助する。

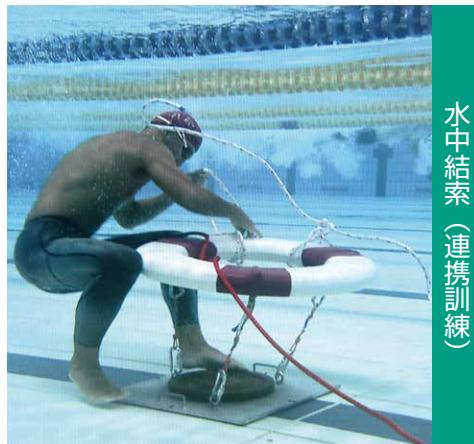
【標準所要時間四三秒】



表彰者

水中結索（連携訓練）

山田 雄喜



宮崎	田竹内	日下	谷口	福島	松本	馬瀬	平山	小松	程島	鈴木	引地	菅原	高橋	山崎	武川
健大知	悟英直之	英直也	永伸	健太	孔二	健太郎	厚海	野谷	田	佐藤	敏一生	健典久	健太郎	健悟	川筋
	一郎		一郎	康裕	一郎	陽郎	海	澤	松	大樹	佑哉	大輔	一介	弘成	大輔

天草広域連合消防本部

【中国】
岡山市消防局

【東近畿】
大津市消防局

【東海】
鈴鹿市消防本部

磐田市消防本部
川崎市消防局

【関東】
横浜市消防局

【東北】
仙台市消防局

【北海道】
日高中部消防組合消防本部

【東北】
青森県消防組合消防本部

【東北】
岩手県消防組合消防本部

東京消防庁

里浅	染尾	中齋	見井	谷内	澤藤	小田	板武	荒木	尾形	山口	澤田	川澤	垣田	木村	祐
達俊	将浩	修恭	矢紀	利紀	平介	雄太	宏雄	太郎	祐峻	祐毅	也輔	雄也	貴郎	隼貴	平翼

川口市消防局

【関東】
前橋市消防局

新潟市消防局

【東北】
釜石大槌地区行政事務組合消防本部

【標準所要時間一分四六秒】

三人一組で水中の結索環に、第一泳者は「もやい結び」、第二泳者は「巻き結び」、第三泳者は「ふた回りふた結び」をそれぞれ指定された三種類のロープ結索技術を習得するための訓練。

【標準所要時間一分四六秒】



水中検索救助（連携訓練）

名古屋市消防局

【東海】
名古屋市消防局

【近畿】
神戸市消防局

【中国】
津山圏域消防組合消防本部

【四国】
高知市消防局

【九州】
水俣芦北広域行政事務組合消防本部

東京消防庁

広谷	内白	鳥川	本菊	宮本	松本	佃	津野	浅川	寺崎	寺坂	美若	木伊	道永	河近	石川	吉尾
拓晃	耕作	浩平	祐希	祐真		裕二	貴太智	太智	貴翔	翔多	翔	貴直	太生	豊平	大俊	三口
八浩																西谷

霧島市消防局	【九州】 高知市消防局	【四国】 神戸市消防局	【中国】 津山圏域消防組合消防本部	【近畿】 水俣芦北広域行政事務組合消防本部	【東北】 八戸地域広域市町村圏事務組合消防本部											
広谷	内白	鳥川	本菊	宮本	松本	佃	津野	浅川	寺崎	寺坂	美若	木伊	道永	河近	石川	吉尾
拓晃	耕作	浩平	祐希	祐真		裕二	貴太智	太智	貴翔	翔多	翔	貴直	太生	豊平	大俊	三口

四人一組で第一泳者が水面を、第二泳者が水中をそれぞれ検索し、水没している要救助者（訓練人形）を発見して水へ引き揚げた後、第三泳者と第四泳者が協力して対岸の救出地点まで搬送し、救助する。

【標準所要時間一分四二秒】



表彰者

岡山市消防局

【中国】
岡山市消防局

【近畿】
大阪市消防局

【東近畿】
京都市消防局

【東海】
大垣消防組合消防本部
静岡市消防局

【関東】
仙台市消防局

大日	池	末榎	松堤	幸寺	新平	金戸	鈴木	長屋	高山	太杉	石木	齊藤	中野	関口	老久	保亮
森	高嶋	松本	井	前田	野井	森	倉木	屋	本	杉	橋	元藤	上野	浜谷	太郎	太郎
宏隆	尊史	伸竜	勇也	純賢	祐裕	友龍	友吉	亮	太	哲	佳	芳	暁	吉	幸	太郎
行明		朗也	秀樹	祐一	士人	亮	吉輝	暁輝	実	哲弘	千芳	暁	雅雄	宏寛	寛行	太郎

技術訓練

定められた救助方法や資器材に縛られることなく、創意工夫のものとで、より安全で迅速・確実な訓練を発表するもの。

陸上部

【東北】
宮城県
仙台市消防局

(想定内容)

想定は、「東日本大震災において津波の流入を食い止める防波堤の役割を果たした仙台東部道路周辺。津波により押し流された家屋や車両の上に、救助を求める複数の住民が取り残されている現場」とします。

多量の瓦礫と浸水という過酷な活動環境下において、仙台東部道路上から隊員二名が浸水区域に進入、限られた人員と資器材で如何に安全、確実、迅速に要救助者を救出するかということをテーマに訓練を実施します。

①訓練の着眼点
②めに改良した胴長を着装する。
③地上に強固な地物が無く、かつ次の要救助者へと転戦対応することを目的に、隊員自身が支点となりロープブリッジを展張することで、短時間で即応したアプローチを実施する。
④津波再来に備え、緊急退避を想定した活動を実施する。

想定内容 想定は、「津波で被災した一階建て建物屋上に、要救助者一名が取り残されている現場」とします。

倒壊建物や津波によるがれき等により道路が封鎖されているため建物直近への車両部署はできず、また、建物屋内階段等による上階への進入はできないため、隊員は、携行した必要最小限の救助資器材を使用して要救助者までの進入動線を確保し、シンプルに救出することを目指し訓練を実施します。

① 訓練の着眼点 建物を超えてロープを設定する際

（農三四四四）

大船渡地区消防組合消防本部
岩手県
山渡藤山林吉中平
下辺原田田京太郎光
育圭隆輝彦郎
史翔貴一郎



水上の部

北海道
旭川市消防本部

須高千九瀧橋谷曹廣嶋原栗川
貝橋代島田場原伸佳
僚春祐大圭史洋一亨
太彥生樹祐明平将伸

（想定内容）
想定は、「旭川市の中央部を貫流する、日本で三番目に長い一級河川の石



② に、建物屋上の縁部分に「オープ」が直接当たらないよう地上でその保護を行う。
救助隊員の P P E (自己防護装備) を活用し救助活動を実施する。

狩川で、釣りをしていた男性二人の内一人が誤つて落水し流され、それを救出しようと入水した男性一人も流された現場」とします。

訓練は二部構成とし、第一部では、上流から流れてくる要救助者を、橋上から懸垂下降し入水した二名の隊員が確保した後、バックアップ隊員のスローバック補助により、安全・迅速・確実に要救助者を救出します。

第二部では、川の特性を考慮し、スタートマンの技術を駆使したボートコントロールにより、ボートを自在に操作して、中州に留まつている要救助者をボートに収容した後、バックアップ隊員のスローバック補助により、安全・迅速・確実に要救助者を救出します。



消防服試着・放水体験

消防服を着装して消防車から延びるホースで狙いを定めて放水開始！

本物の炎を前に少し緊張気味の子も。無事に消火活動を完了した子どもたちの顔は達成感に満ち溢っていました。



消防車両展示・最新消防車搭乗

東日本大震災発生から約1時間後に仙台港に津波が襲来した高さ7.1メートル（気象庁調べ：推定）。

あらためて震災での津波の高さを実感するとともに、「仙台・宮城」の地で本大会が開催できたことに誰もがよろこびを感じていたのではないでしょうか。



遊具エリア

遊具エリアでは、「消防車プレーリランド」・「消防車ロードトレイン」・「ふわふわエアドーム」が子ども達に大人気！「ふわふわで楽しかった！」と明るい声が聞かれ、最後まで長い列ができていました。



地震体験

東日本大震災では、地震の規模はM9.0、最大の震度は7。様々な揺れを再現できる起震車での地震体験に長蛇の列ができていました。

あの未曾有の被害をもたらした東日本大震災を経験し、職員からの地震発生時の注意事項に真剣に耳を傾け、身を守る方法について学んでいました。



はしご車搭乗

「たかーい！」と見上げながら歓声をあげる子どもたち。いざ乗り込むときにはやや緊張気味でも、怖くなかった？と聞くと「楽しかったよ！」と明るく答えてくれました。当日は晴天に恵まれ、みなさん会場を一望できることでしょう。



防災・減災学びのエリア

「防災・減災学びのエリア」では、企業や学校関係、地元団体による防災・減災に関する様々な取組みを見て・体験できる防災グッズの展示などのブースが設けられ、訪れた人々も興味深く見学していました。



キッズレスキュー体験

はじめてつけたハーネスに車両に張られたロープ。自分の力で反対側のゴールに到着したらレスキュー隊員の仲間入り。「あんなに早く渡れるなんてすごいね！」と、参加隊員に聞かせてあげたい一言。



濃煙体験

口をおさえて、姿勢を低くして煙の中から脱出！「煙で前が見えなかつたかな？」と尋ねると「ちゃんとしゃがんでだから平気だった」と誇らしげ。「もう一度やる！」と頼もしい子どもたちでした。



応急手当体験

一定のリズムで心臓マッサージ！大人も子どもも真剣そのもの。体験したお父さんからは「なんとなく知っていたけど、見ると実際にやるのでは全然違いますね」と汗を拭いながら話してくれました。



ミニステージ

陸上の部訓練会場のミニステージでは、消防団による間近に見るはしご乗りは迫力満点！

水上の部訓練会場の屋外では、仙台市と石巻市の消防音楽隊が演奏。炎天下の中で憩いの場を提供！



全国消防救助技術大会

～市民インタビュー～



新宮さんご家族とご友人のみなさん

- 殉職した主人の後輩たちが今回大会に出席するので、京都から家族で応援にきました。

- 主人は東日本大震災の際、緊急消防援助隊としてこちらに派遣されました。きっとこの大会に来たかったと思います。

- 会場は広くて、色々なイベントがあり子供達も喜んでいます。

- 消防士のみなさん、事故等には本当にで守ることを忘れないでください。現場から殉職者がなくなることを心からお祈りいたします。



佐々木さんご友人のみなさん

- 今日は、地下鉄のポスターを見て応援にきました。

- 消防士さんはみんなカッコイイですね。ロープを登ったり、渡つたり凄いです。



中川さん・里田さん

- 私たち、家族が出場するため応援にきました。

- 地区指導会も見に行きました。全国大会は各地域の代表選手が出場していくとても迫力があり圧倒されました。

- イベント会場には、様々な特殊機能を持つた消防車両が展示されていて驚きました。特に、地震、津波のための消防車の水陸両用消防車があることにびっくりしました。

- 東日本大震災の時に応援に来ていただきます。



林さん・古関さん

- 今日は、知人が大会に出場するので、友人と応援にきました。

- 今日のような暑い日でも一生懸命に訓練している消防士さんは本当に素晴らしいと思います。

- 東日本大震災から初めて全国大会が宮城県で開催されるのは、とっても嬉しいです。

- 消防職員のみなさんはこれからも日々の訓練に努めていただき、市民のため頑張っていただきたいと思います。



落合さんご家族

- 今日は、主人が大会に出場するので、神奈川から家族で応援にきました。

- 参加隊員・関係者の皆さま大変おつかれさまでした。

- いろいろな訓練やイベントが行われていて、見応えのあるすばらしい大会でした。

やさしくてカッコイイ消防士さん

- からも応援しています。頑張つてくださいね!!

- 会場には全国から消防士さんが来て、お祭りみたい。消防車に乗れたり沢山のイベントがあって面白いです。

- やさしくてカッコイイ消防士さんこれからも応援しています。頑張つてくださいね!!

- これからも体に気をつけて、市民のたまに頑張つてください。

渡邊さんご友人のみなさん

- 今日は、知人が出場するので応援できました。

- 大会は、お祭りのようでとても盛り上がっていました。

- 訓練中の姿はともて格好良かつたであります。そこには日々のひたむきな努力があるからだと感じました。

- 全国大会が東日本大震災の被災地である宮城県で開催され、全国から人が集まつてくれたことはとても嬉しく思いました。

- これからも体に気をつけて、市民のたまに頑張つてください。



開会式の後、陸上会場において、ベガルタ仙台の応援活動を行つてゐる「ベガルタチアリーダーズ」によるオープニングアトラクションが行されました。同チアリーダーズは、地域へのイベントにも多数参加し地元の応援団としての役割も担つています。

音楽とともに登場し、開始と同時にパワフルでスピード感に溢れるパフォーマンスを披露し、持ち前の笑顔で元気を届け、会場を一体感で込み込み一気に雰囲気を作り上げました。

オープニング アトラクシ



中心メンバーの一人である阿邊このみさんは、「四六回目の開催となる伝統と格式のある大会において、オープニングパフォーマンスができたことを、大変うれしく思います」と満面の笑みをみせれば、ルーキーの大和田樹里さんは、「テークダンスでは、ご来賓や隊員の皆様も一緒にになって手を振っていたとき、とても感動しました」と語り、満足そうな表情からは充実感がみなぎっていました。

ハーフタイム ショー

ハーフタイムショーとして、水上会場において、利府町のキヤツチフレーズ「未来に羽ばたく若い利府」の思いを和太鼓に託し、練習を重ねてきた利府太鼓の九名による勇壮な「利府太鼓」が披露されました。

利府太鼓を率いる代表の高橋久代さんは、「東日本大震災では、多くの消防の方に助けていただいた。その時の感謝の気持ちを伝えるという想いで皆、力を出し切って演奏しました。」とお話ししてくださいなり、また、複数の太鼓を組み合わせて打つセット打ちで来場者を圧倒した千葉怜さんは、「全国から消防職員が集まる」と聞き、责任感を持つて稽古をした。日本の音、太鼓の音を聞いて、これからも頑張つてもらいたい。利府太鼓は全国で活動しているので、また、どこかで一緒できると良いです。」と笑顔でお話しされました。



SENDAI の演奏にあわせた演技が来場者を魅了しました。仙台市消防音楽隊楽長の鶴沼清孝さんは演奏前に、「この宮城県一つになつての合同演奏は初の試みで、東日本大震災の時に力を貸してくださいました時の感謝の想いを音に込めて演奏します。」とお話しされ、また、石巻広域消防音楽隊楽長の高橋英之さんは、「東日本大震災では全国から仲間が駆けつけてくれた。その時の感謝と、全国の皆さんに、この演奏で頑張って頂きたいという気持ちで準備し、練習をしてきました。」とお話しされました。



AR動画配信サービスのご案内

スマートフォン、タブレットで動画を見る
ことができます。

ARアプリを使用して動画を見る方法は下記を
参照してください。

1 アプリを
ダウンロードする！



2 アプリを起動し
マーカー*をかざす！



3 動画や音楽などが
自動再生される！



*マーカー画像：スマートフォンやタブレットのカメラで読み込む画像です。

●「COCOAR2」のご使用は Wi-Fi、または LTE 環境を推奨しています。

●回線混雑状況等により画像の認識や動画再生が遅くなる場合があります。

AR（拡張現実）とは…

ARとは、マーカーをスマートフォンやタブレットを
かざすと動画や音楽などが自動再生されます。



一般財団法人全国消防協会
Firefighters' Association of Japan

—安心への選択—
消防職員とその家族を守る団体保険です！

全国消防グループ保険（生命保険）

消防職員医療保険（損害保険）

消防職員傷害保険（損害保険）

消防職員賠償責任保険（損害保険）

一般財団法人全国消防協会の消防団体保険は、全国16万人の消防職員の助け合いの制度です。

消防職員とそのご家族の皆様の福利厚生に是非ご利用下さい！

お問い合わせは  0120-119-147 (生命保険)  0120-065-988 (損害保険)

消防団体保険の収益は、全国消防救助技術大会の開催をはじめ、全国の消防職員のための事業の実施に活用されています。

